

本びより

No.7

2016年、1回目の発行です😊



お届けいたします!!

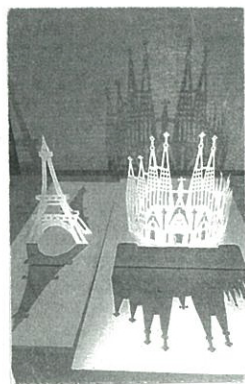
新企画 盛りだくさんで



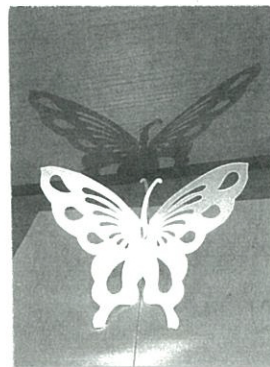
図書館員の飽くなき挑戦

本を読んでやってみようということで、今回「紙ワザ建築」に挑戦してみました。

必要な物は、紙ヒカッターと身近にあるもので大丈夫だったため、手軽にはじめることができました。ただし、紙は本にも書いてあるようにケント紙を使用した方がやりやすかったです。画用紙を使用したところ、折る部分がきれいに出来ませんでした。



『紙ワザ建築 世界遺産の菊地 清著 日貿出版社 (954.91キ7)』



細かい部分を切り抜いていくのは根気のいる作業でしたが、不器用ながらもついに最後まで完成させることができ、一安心。

左のようにグリーティングカードもできるので、作って渡すのも素敵かなと思います。

『折り紙建築 グリーティングカード集』 長瀬 圭子著 彰国社 (954.91キ7)

平成28年3月1日
下松市立図書館発行

中学生の本棚から

図書委員会の皆さんから、オススメの本を教えてください!!

下松中学校

『DOUBLES!! -ダブルス-』 天沢夏月 / 著
メディアワークス文庫(KADOKAWA刊) (B913.6アマ)
高校テニス部で出会った熱血練習バカの馬区と、孤高の天才プレイヤー・琢磨。入部当日から喧嘩してばかり、プロスタイルも正反対な2人にある日突然、部長命令が下り、ペアを組むことに!! いつも衝突を繰り返す2人が自分のプライドを捨てて仲良くなっていく姿は、とても微笑ましいです!!



『夢へ翔けて〜戦争孤児から世界的バレリーナへ〜』 シテラ・テフプリンス / 著 エレン・テフプリンス / 共著 田中奈津子 / 訳 ポール・ラズ (769 デワ)
アフリカ・シエラレオネでの内戦、黒人への差別・偏見。一生きる希望はクラシックバレエでした。すべてを乗り越えて前向きに生きた黒人少女の感動の自伝。現在、オランダ国立バレエ団に所属している世界的バレリーナのシテラ・テフプリンスさんの人生を描いた珠玉の一冊。涙なしでは読めません! ぜひ一度ご覧下さい。



久保中学校

『風の中のマリア』 百田尚樹 / 著 講談社 (913.6セバ)
生きていくことが厳しい世界の中、自分たちの生まれながらの役目を一生懸命果たそうとするオオズメバチの物語です。オオズメバチの生き方が自分の生き方と重なって、人生の楽しさや生きがい、幸せを改めて考えさせられるような本です。



『僕はお父さんを訴えます』 友井羊 / 著 宝島社 (913.6トモ)
ある朝、愛犬のリクが橋の下で血を流して死んでいた。犯人を父親と考える光一は友達久保敦と元同居人の真季と裁判を起すことに。しかし、この裁判は昔死んでしまった母の死に関係が! 意外な結末に驚きます。日本の法律を駆使して書かれたこの本を、ぜひ読んでみて下さい。



図書館員から中学生の皆さんへ

『私立時計ヶ丘高校タイムトラベル部』 小谷太郎 / 著 中経出版(KADOKAWA刊) (F20.4コタ)
タイムトラベル——何と夢と魅力に満ちた言葉なのでしょう!! 本書ではタイムトラベルについての理論、最新研究からタイムトラベルを行うことで引き起こされる問題まで、面白くてちょっぴり切ないストーリーで学ぶことができます。この本に興味を持ったあなたも、もしかしたらタイムトラベル実現の立役者になるのかもしれないよ。



『サクラ咲く』 辻村深月 / 著 光文社 (913.6ツジシ)
自分に自信がけない、自分の居場所が見つからない。痛みを抱えて学校生活を送る少年少女たち。でも、彼らは決してひとりではないのです。彼らと接点を持った登場人物たちは、傷付いた心に気づき、自分たちなりの方法でその心を救おうとします。読んだ後は胸が優しさを満たされる、そんな一冊です。



おすすめライブラリー

『相撲「通」レッスン帖』 伊藤 勝治 大泉書店 (788.1/スモ)

今、相撲が熱いっ!! 十年ぶりの日本出身の優勝に、若手力士の台頭。けれど、実は詳しく知らないんだよね... という人も多いのでは?

これから見てみようかな? という人も、往年のファンよという人もこの本を読んでより深く相撲を知ってみませんか?

何気ない疑問から、ちょっとした豆知識まで、長年行司を勤めた右の監修の元に書かれています。

この本を読めば、次の場所はもっとも、と相撲を楽しめる事まちがいない!!

もしかすると... 実際に見に行っている方もいませんか?



『女子会川柳3』 (911.4/ジヨ/3)

~ 壁ドンに憧れ今はオフィスのドン~
シティリビング編集部
ポプラ社編集部) 編

今回、何を紹介しようか迷った結果...

1月に出版された、この本をおススメします。

好評だった1・2巻につづき、この3巻もおもしろい!!

難しいこと抜きに、とにかく手に取って読んでみて下さい。

思わず女子は「あ〜わかる!!」と言いたくなると思います。

女子ではないあなたも、これを読んで女子たちの切ない本音を知って下さい!! そして、さらにイラストも笑えます。

疲れた時は、この本を見てクスッと笑いましょ♪



『葛屋』 谷津 矢車 / 著 学研パブリッシング (913.6/カツ)

「TSUTAYA」の屋号の由来がある人物、葛屋重三郎。

写楽を世に送り出したとも言われています。

笑いあり、涙ありの江戸時代の本屋さんへタイムスリップしてみませんか?



△△こちらもおススメです!

『むだ』と『うがち』の江戸絵巻本 (913.5/ムダ)

小池 正胤 / 校注・解説 笠間書院

実際に重三郎が出版したという裏表紙本について詳しく書かれています。



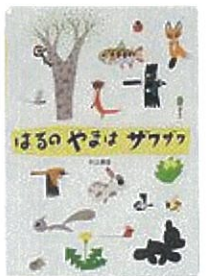
もうすぐ「春」です

『はるのせまは サワガワ』 (E/ムラ) 村上 康成 徳間書店

春の山は、いのちの音でいらはおい

さあ耳を澄ましてみてください。

あなたは、どんな春の音を見つけましたか?



『たんぽぽのおくりもの』 (E/材) 作: 片山令子 絵: 大島妙子 ひかりのくに

春になるのが 待ちきれなくて、早く目を覚ました こぐまのコロンは、春のにおいをたどって どんどん歩いていきます。

どんな春がみっかるのでしょうか?



『卒業するわたしたち』 (913.6/カト) 加藤千恵 / 著 小学館

ず〜と続くように思えた毎日か、

「卒業」を境に変わってしまう、終わってしまう..... 切なさに満ちた短編集です。



『これが正解!ひとり暮らしスタートブック』 (590/コレ) 主婦の友社

春からは新生活!! 楽しみな反面、ひとりで何でもやらないといけないので不安もありますよね。

この本を読んで心の準備をすると安心かもしれません。



あおぞら号 Vol.7 リポート



△ヒカヒカの制服で元気な姿を見せてくれるととても嬉しいです!

春は出会いと別れの季節ですね!

移動図書館車「あおぞら号」は市内9つの区立保育園・保育園さんを巡回しています。卒園前はこちらが涙・涙になってしまいませんか? また春から巡回先の小学校や児童の家、お家の近くのステーションに本を借りに来てくれて再会できる子たちもいます。もし「あおぞら号」が素敵な本との出会いのきっかけになってくれたら、これ以上嬉しいことはありません。

